

夏きたる

森野 水琴

七月上旬。フランス語を習いに通っている学校の春学期が終わり、夏が来た。梅雨明け宣言は未だ発表されていないが、猛暑日になるなど夏本番である。九月下旬の秋学期開始までは、八月の水曜日の午後二時間授業を三回受けるだけなので、教養を高めるチャンスでもある。

午前中のジョギングは熱中症対策のため長時間できない。とはいえ九月下旬の網走マラソンに向けて練習は欠かせない。

フランス語については、今年念願の卒業試験に合格し、来年の教授資格の試験に向けて過去問を解いてみるつもりである。

実は二〇〇四年から卒業試験を受け続けていたおかげで、過去問を卒業試験と教授資格試験のセットで集めてある。二十年分の過去問が手元にある。来年の六月までに入念に準備するつもりである。

教養については西洋の美学を学ぶ予定である。当面は英語やフランス語で書かれた文献で独学することになる。

そして来年の歌会始の応募作の毛筆清書を八月に仕上げるつもりである。

これまでに経験したことのないような熱い夏が始まる。